

釋教共人歌仙圖

勸修寺僧正榮海撰

清和天皇御

秋香共

山田

文治ノ苑ハ心ヲ多クヨリテリ業ヲ海ノ志ハ

法ノ源ヨリおタリ一モアハハ文也ノ月ノ國ヲ

ハシタトシテノアササス日ノ年ニイタリニテ佛

ノ教ハ人ノ詞ハカニタラズモルハシ是ヨリテ

聖徳太子ノ兵馬山ノウエ人ニタラズノ衣ノ終シ

顯化成佛ノマコトハ多クシテハ空羅門僧正

ノ梵國ヨリイタリシノ善喜蔭ト共ニ靈山舎在

ノ昔ノ契ツノハ終ラズヤ彼蘭天ニテハ大目世言

鉄塔ノモリヲ用テ終テ其ノ光ヲテカシ我國



鉄塔ノ、モリノ用ヲ終テ、其ノ光ヲテカシ我國

ニミテハ、アミテんシ神、天者戸ノ書終テ、トシテ

世ヲテラシ終フ神、ト併ト夫をニ似シカレシコト

終フ日ノコノ國ヲテラシ終フ事、ト多クニタラス

國ノ日、本國トシテ、人種地、人ハ像テ、其

トシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ

上業ノ事、トシテ、カレシトシテ、カレシトシテ

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

カレシトシテ、カレシトシテ、カレシトシテ、カレシト

ミツル物花のさきりうらむに 佛徳平にさるる目  
 ありぬすたれして 月夜にさるるありぬす  
 かりぬすたれして 月夜にさるるありぬす  
 かりぬすたれして 月夜にさるるありぬす

達磨和尚



伴のうらむのさるるありぬす  
 我々者ありぬす

達磨和尚



仲のうへに  
 我々のあつち  
 我々のあつち

19. 10. 10



僧正善提



加のり新の  
 女達の口から

雲の釋の  
 雲の釋の

迦いり衛いせま 契いりあひん  
女味のあひん 一ふんくわん那

雲の釋のあひん 一ふんくわん那  
あひんくわん那



僧の基



傳教師

い梅多羅と花と美花のりんくわん  
いんくわんあひんくわんあひんくわん

天竺の僧に  
其の如く



龍舟

舟の羅刹の  
其の如く  
其の如く

卷之二



勤念亦宜、  
崎名不措、  
經音

有りの宿風、  
たわの、  
我すの、  
は



勤念亦如室戶崎乃不惜經營  
的乃亦如



慈覺大師



大心此する月日をみち  
教のついでに

智澄大師



法苑珠林  
神のついでに

沙弥满誓





法如... 神...

沙弥满誓



世... 法...

法着僧都



三... 法...

僧白通照



三輪河本...  
...  
...  
...

僧の通照



儀の神...  
...  
...

新撰の部



家...  
...  
...

家いかに私に此方三つは  
世にあらん人か

僧取賢



花乃中一員あるは  
いかにあらん

香子



今いかにあらん  
いかにあらん

今しんこららけりて  
あまのついでに  
あまのついでに



雲也上人

有るのよこらけりて  
あまのついでに  
あまのついでに



目藏人

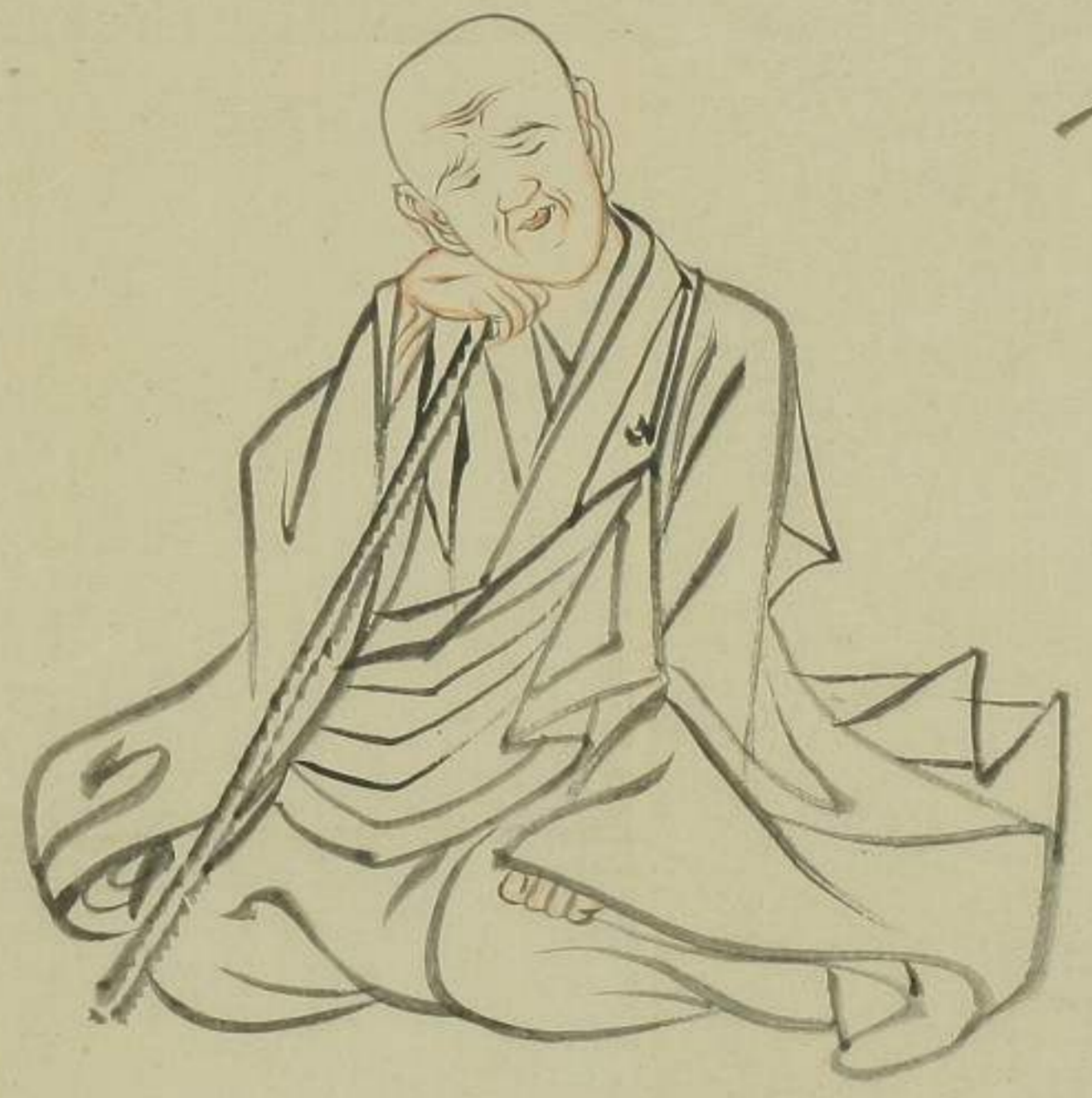
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

目藏人

家世のついでに  
安んずるは



蟬丸



蟬丸のついでに  
安んずるは

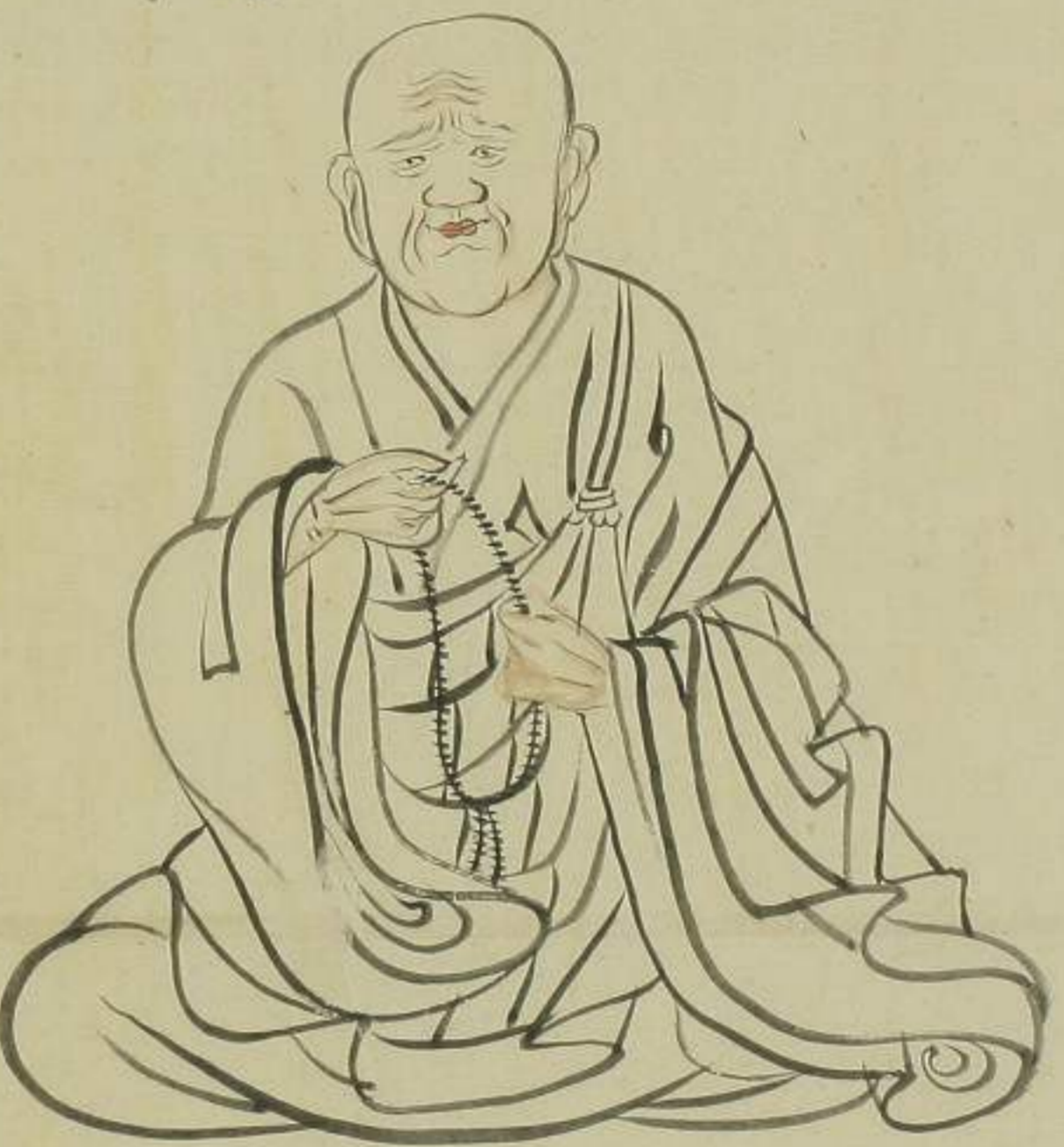
蟬丸



蟬丸のついでに  
安んずるは



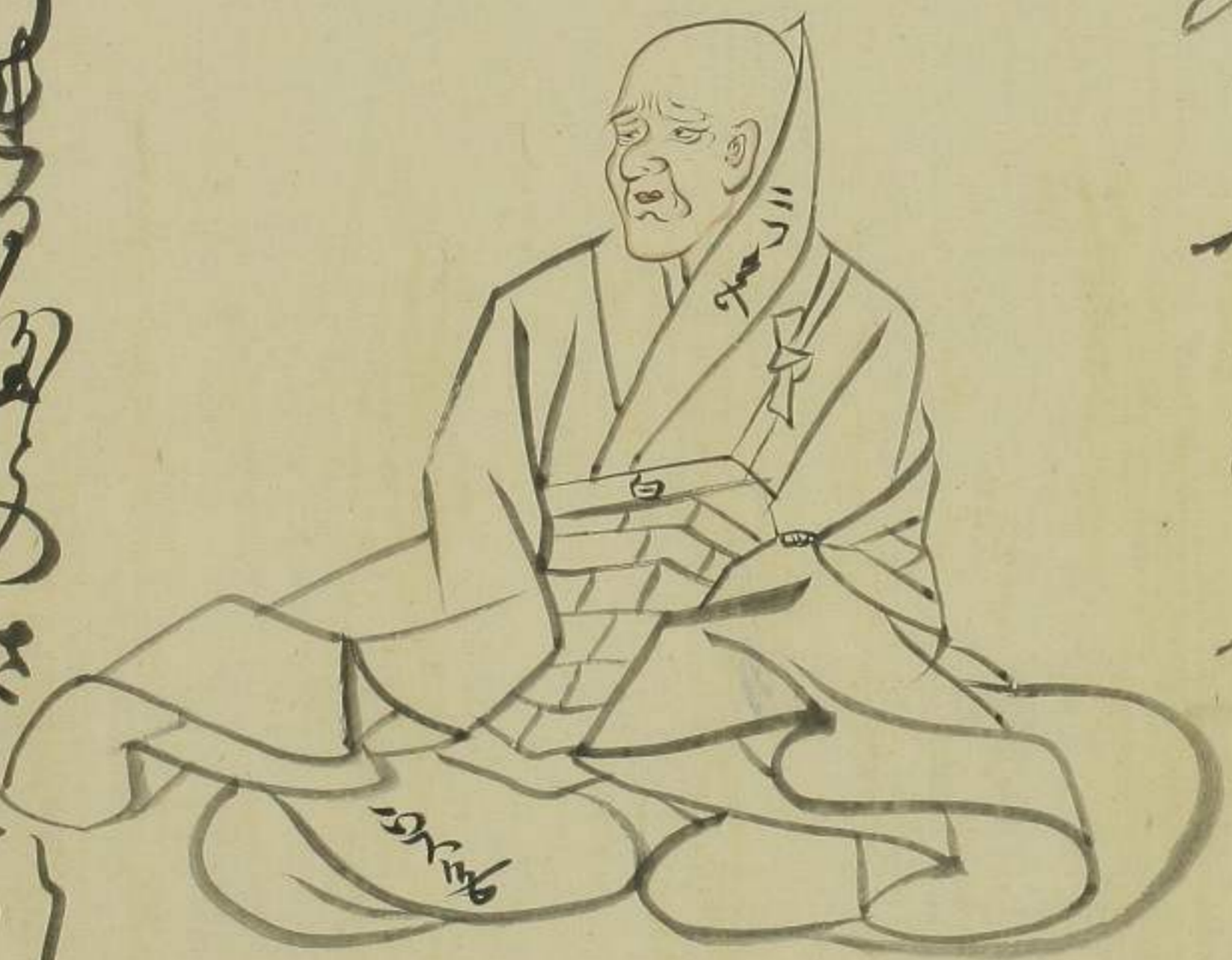
Handwritten text in cursive script, likely a name or title, positioned to the right of the first figure.



Handwritten text in cursive script, likely a name or title, positioned above the second figure.

Two columns of handwritten text in cursive script, positioned to the right of the second figure.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title, positioned above the third figure.



Two columns of handwritten text in cursive script, positioned to the right of the third figure.

いんげん豆を煮て食ふ  
はやく病を癒す



豆を煮て

いんげん豆を煮て食ふ  
はやく病を癒す



豆を煮て

いんげん豆を煮て食ふ  
はやく病を癒す

Handwritten text in cursive style, likely a title or introductory passage, located on the right side of the page.

持世觀



Handwritten text in cursive style, located below the figure of the seated figure with prayer beads.

慈蓮法師



Handwritten text in cursive style, located below the figure of the seated figure in a contemplative pose.

符





草子  
~~~~~  
~~~~~

僧の



草の

~~~~~

~~~~~

僧の



團

~~~~~

團扇よりしるしをひきおとす

よも初音のこころにんす

俊登



春より人の暮りてふりかへりて

浪りてこころにんす

道因

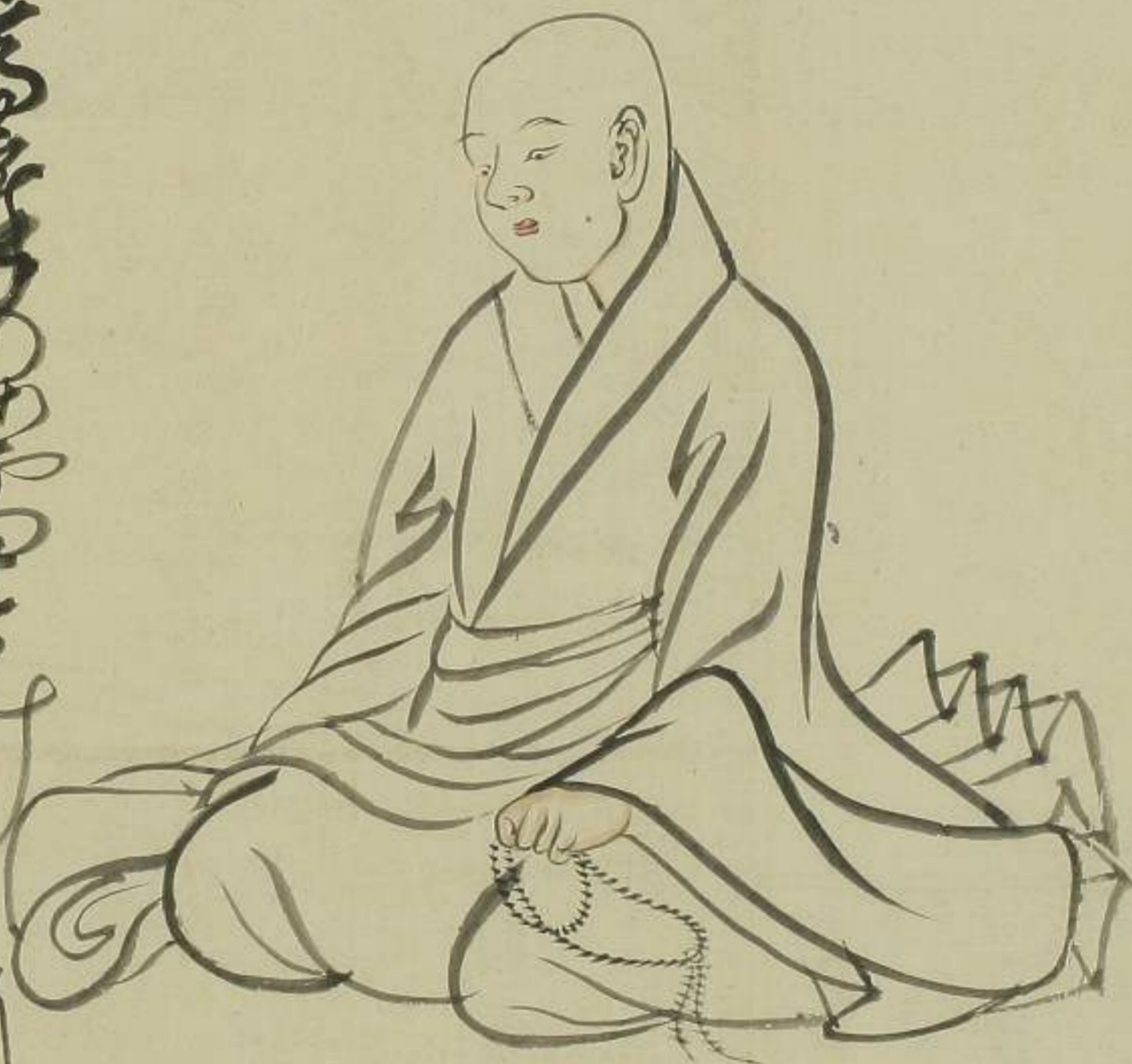


男よりかへりてふりかへりて

浪りてこころにんす

男の心はあはれ  
あはれなるは  
あはれなるは

あはれ



あはれなるは  
あはれなるは  
あはれなるは

僧の心



あはれなるは  
あはれなるは  
あはれなるは

Handwritten Japanese text in cursive style, located on the right side of the page.

Handwritten Japanese text in cursive style, located below the main text on the right side.

Handwritten Japanese text in cursive style, located above the figure on the right side.



Handwritten Japanese text in cursive style, located to the left of the figure on the right side.

Handwritten Japanese text in cursive style, located above the figure on the left side.



Handwritten Japanese text in cursive style, located to the left of the figure on the left side.



あまのついでに  
あまのついでに

蓮は



あまのついでに  
あまのついでに

蓮は



あまのついでに  
あまのついでに

蓮は



のきつねね年とらん、くわいせ  
と、おのづかのしん、ふしん

僧の姿



山よりしん、あまのの、まの、た、し

あまの、あまの、あまの、あまの

あまの、あまの



あまの、あまの、あまの、あまの

目録



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

目録



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、



秋教三十二款仙

[Blank label]

秋教三十二款仙

188